

2025 年 6 月 24 日

報道関係各位

食物アレルギーに挑む：母乳成分の役割と濃度変化を紐解く最新の知見

《第 24 回新生児栄養フォーラム》で発表

雪印ビースターク株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：渡辺 滋）は、雪印メグミルク株式会社と共同で 2015 年より第 3 回全国母乳調査を実施しています。

今回、食物アレルギーとの関連が示唆されている母乳成分に関する研究の成果を、2025 年 6 月 21、22 日に開催された第 24 回新生児栄養フォーラムで発表いたしました。

今後も、収集した母乳の成分と母親の生活習慣や児の成長・発達との関係を調べてまいります。

◆研究発表の概要

近年、食物アレルギー罹患者は増加傾向にあります。食物アレルギーは、3 歳までの患者の半数以上が生後 12 か月以内に診断されることが報告されており、乳児にとって重要な栄養源である母乳と児の食物アレルギー発症との関連が注目されています。しかしながら、現在まで母乳栄養の食物アレルギー抑制作用について明確な結論は得られていません。一方で、母乳中の成分による食物アレルギーの発症抑制を示唆する研究結果も報告されています。

本発表では、雪印ビースタークが 70 年以上にわたり取り組んできた母乳研究から、食物アレルギー発症抑制との関連が示唆されている母乳成分について報告しました。

母乳に含まれる食物アレルギーとの
関連が報告されている成分

	リスク低下
一般栄養成分	ビタミンA ビタミンD DHA HMOs
サイトカイン	TGF- β IL-10 IFN- γ sCD14
抗体	IgA IgG

最新の母乳研究の知見紹介

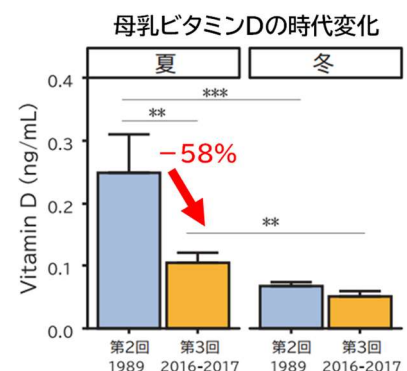
母乳中ビタミンDの時代変化
過去(1989年)vs現代(2016-2017年)

DHA含有サプリメントが
母乳中DHAに与える影響

プロバイオティクス摂取による
母乳中TGF- β への影響

・母乳中ビタミン D の時代変化

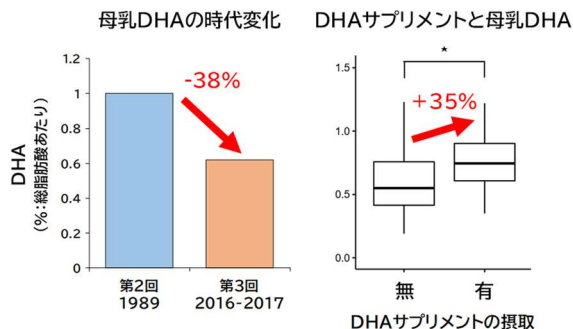
胎児期や乳児期のビタミン D 充足度が高いと、食物アレルギーの発症を抑制することが報告されています。現代母乳と 30 年前の母乳のビタミン D 濃度を比較したところ、現代母乳で低下していました。ビタミン D は日光を浴びると体内で合成されますので、日焼けを忌避する現代のライフスタイルの影響と考えられました。また季節や日照時間が母乳中のビタミン D 濃度に強く影響することもわかりました。



・DHA 含有サプリメントが母乳中 DHA に与える影響

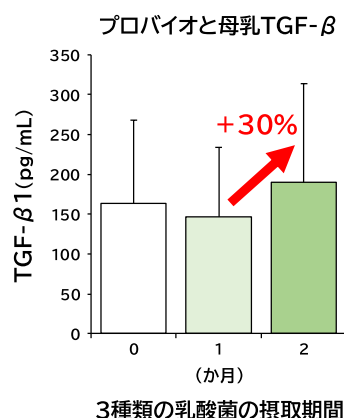
DHA は免疫バランスを整えて、食物アレルギーを抑えると考えられています。現代母乳の DHA 濃度は 30 年前の母乳より低下していました。これは DHA を豊富に含む魚介類の摂取量が減少した結果と考えられます。

一方、授乳婦が DHA サプリメントを日常的に摂取すると、母乳中 DHA 濃度が増加することがわかりました。



・プロバイオティクス摂取による母乳中 TGF- β への影響

TGF- β は免疫成分の一つで、過剰な免疫反応を抑えることで、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎等のアレルギーを抑えると考えられています。母乳中の TGF- β 濃度は、乳酸菌などのプロバイオティクスの摂取で変動することが報告されています。そこで、授乳婦を対象に、3 種類の乳酸菌（プロバイオティクス）を摂取する試験をしたところ、母乳中の TGF- β 濃度が増加することがわかりました。



■今後の取り組み

当社は、母乳栄養を中心とした乳幼児栄養に関する研究を継続するとともに、食物アレルギーの予防や発症リスク低減につながる研究を推進します。全国の医療機関や研究機関と連携し、母乳中の各種免疫成分や栄養素、さらには母子の生活環境まで含めた包括的な調査・研究を継続中です。それらの成果を、粉ミルクやママ向けサプリメントなどの製品開発と充実したサービスに活かし、赤ちゃん和妈妈をはじめとするご家族のみなさまが安心して過ごせる未来を支えてまいります。

◆発表内容の概要

演題名 母乳成分と食物アレルギーとの関連
 発表者 安枝武彦
 雪印ビーンスターク(株)商品開発部
 開催日 2025 年 6 月 21、22 日(発表日:6 月 22 日)
 会場 浅草橋ヒューリックホール(東京都台東区浅草橋)

【関連リリース】

- ・母乳中ポリアミンと児のアレルギーリスク低下の関連 第 79 回日本栄養・食糧学会で発表
(2025 年 5 月 27 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/7783/>)
- ・母親の食事や DHA サプリメント摂取と母乳中の脂肪酸組成との関係についての研究結果が論文掲載されました
(2020 年 9 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/6169/>)
- ・第3回全国母乳調査 1210 組のお母さんと赤ちゃんにご協力いただいた研究概要が論文掲載されました
(2020 年 6 月 11 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5893/>)
- ・日本人の母乳中ビタミン D 濃度の年代による変化を調査
(2019 年 10 月 15 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5631/>)
- ・第3回全国母乳調査「オステオポンチン」の乳児栄養における役割について
(2019 年 6 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5500/>)
- ・第3回全国母乳調査 現代日本人母乳の主要栄養素濃度と母親の摂取栄養素量について
(2019 年 6 月 17 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/5497/>)
- ・免疫に働きかける「母乳中オステオポンチン」国際共同研究で濃度変化解明
(2018 年 5 月 21 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/4888/>)
- ・最近の日本人の母乳中ビタミン D 濃度について調査
(2017 年 5 月 23 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/4429/>)
- ・全国規模の母乳調査開始
(2015 年 7 月 24 日 : <https://www.beanstalksnow.co.jp/news/873/>)

【雪印ビーンスターク 第 3 回全国母乳調査につきまして】

母親の生活習慣と母乳成分が乳児に与える影響に関する研究のために実施しております。

- ① 目 的: 母乳成分と母子の背景情報の相互関係を把握する
- ② 対 象: 母乳哺育している母親 1,210 名
- ③ 方 法: 母親から母乳を提供いただくとともに、食事や生活習慣のアンケート、乳児の発育や疾病状況のアンケートを実施
- ④ 母乳とアンケートの収集期間: 2014 年～2024 年(追跡調査を行うため長期実施となります)
※第 1 回(1960 年実施)と第 2 回(1989 年実施)の母乳調査につきましては当社ホームページをご覧ください。<https://www.beanstalksnow.co.jp/labo/milk/>

【母乳の情報を提供する web サイト「母乳ラボ」につきまして】

雪印ビーンスタークが 70 年以上にわたり取り組んでいる、母乳研究についてわかりやすく紹介するとともに、母乳成分と赤ちゃんの発育・健康に関する情報や母乳にまつわる話題や豆知識をご提供しています。

URL : <https://bonyuukenkyyu.com/>

【企業情報】

雪印メグミルクグループ 雪印ビーンスターク株式会社 (Bean Stalk Snow Co.,Ltd.)

設 立 : 2002 年 8 月 7 日

代表者 : 代表取締役社長 渡辺 滋

URL : <https://www.beanstalksnow.co.jp>

本件に関するお問い合わせ

雪印ビーンスターク株式会社 ウェルネス事業部 広報担当 田中 健一

TEL: 03-3226-2335 FAX: 03-3226-2415

MAIL: m990020@beanstalksnow.co.jp